

コミセン自主運営の先は→支所機能削減

またコミセンの運営は、各学区の住民で作る「まちづくり協議会」に任せようとしていますが、現時点で1つも設立されておらず、適切な運営や透明性の確保などの仕組みは「これから」とされています。これらの説明は、市自治連

この条例は、市が9月の議会で成立が見込めず取り下げたものを手直ししたものです。当初は、すべての学区の公民館を来年4月に廃止するものでしたが、来年度からの5年間で廃止していくことになりました（移行パターンは5つ。図参照）。5年後にはすべてコミセン化され、市職員は配置されなくなり置かれます。

市民への説明責任果たさず

11月13日、市議会特別会議が開催され、各学区の公民館を廃止し、コミュニティセンター（コミセン）に移行する条例案が賛成多数（賛成24、反対13）で可決されました。

大津市が公民館廃止・コミセン化強行

日本共産党 大津市会議員団ニュース

No.201

2019年11月号

大津市御陵町3-1(市役所内)
TEL 528-2842 FAX 524-5613

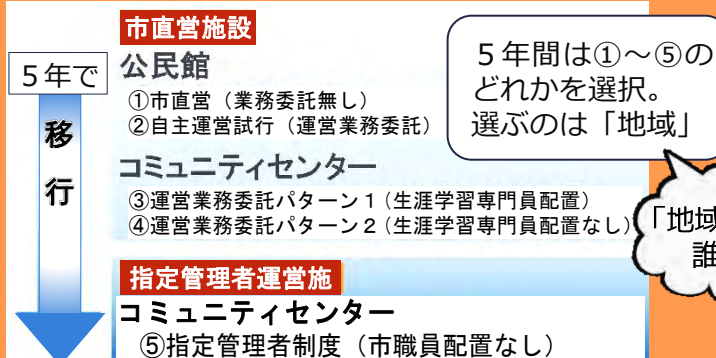
ご意見・ご要望をお寄せください。
info@otsu-jcp.net



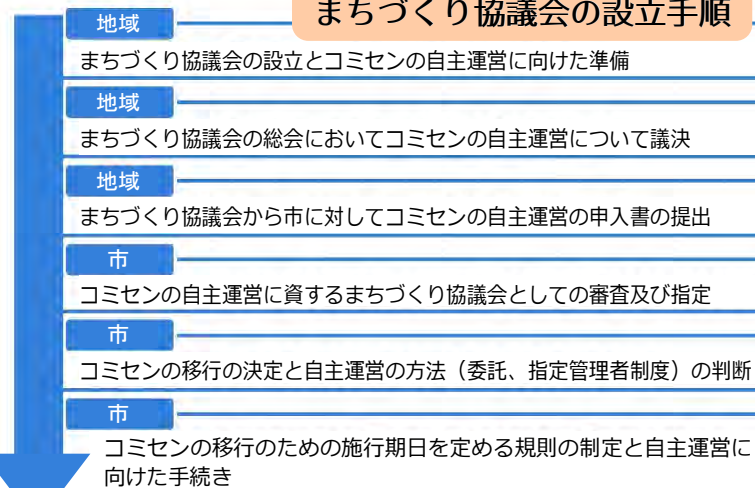
大津 共産党 検索

市が示すコミセン化計画

※市の資料より作成



コミセンを運営するまちづくり協議会の設立手順



コミセンへの移行と自主運営の実施

具体的にどうするのか、仕組みづくりはこれから

コミセン化は、地域の自主運営が前提で「まちづくり協議会」の設立ありき。多くの市民は活動イメージすら持っていません。

いいかげんすぎ!!
このまま進めていいの?

地域まかせ 公の責任は? 市は「地域が自ら地域課題

公民館は社会教育法に基づき、年代を問わず多彩な学習・文化活動を保障する施設です。しかし市も教育委員会も無責任な姿勢に終始。今回の条例で社会教育の位置づけがなくなり、生涯学習専門員の配置も5年で終了し、その間の配置も地域が選ぶとされました。

「学ぶ権利の保障」投げ捨て 合会で行われただけで、市民への説明はありませんでした。



市役所前で、「支所削減・公民館廃止やめて」と訴える市民と党市議団 写真提供：滋賀民報社

を解決できるように」と言いますが、それを市が押し付けるのでは本末転倒です。市民との合意形成を丁寧に進め、公民館も廃止ではなく、課題の共有や学習ができる取り組みを強めるべきです。党市議団は、市の責任を放棄する条例案に反対しました。

4月からの公民館廃止・コミセン化に...

賛成 24人

反対 13人

【湖誠会】津田新三、青山三四郎、川口正徳、桐田真人、竹内照夫、竹内基二、寺田英幸、草野聖地、仲野弘子 【新和会】八田憲児、河村浩史、神田健次、鳥井義徳、西村和典 【公明党】濱奥修利、改田勝彦、高橋健二、中田一子、佐藤弘 【市民ネット】船本力、奥村功、嘉田修平、田中知久、草川肇（議長は採決から除く）

【新和会】井内律子、笠谷洋佑、伴孝昭、幸光正嗣、細川俊行 【協生会】出町明美 【清正会】谷祐治 【共産党】杉浦智子、柏木敬友子、小島義雄、立道秀彦、岸本典子、林まり

11・12月の議会日程

- 11月
25日(月) 議案提案
(※請願提出・正午×切)
- 12月
3日(火)～9日(月)
一般質問
10日(水)～18日(金)
各種委員会
20日(水) 討論、採決

会場は大津市役所です。ぜひ傍聴にお越しください

*市議会ホームページで、インターネット中継・録画もご覧いただけます。